



ひとまち 自然がきらめく 共生の郷 佐用



12 2008 月号

編集・発行 / 佐用町広報委員会

電話：82-2521

No. 39



地域の「きずな」をつくる

11月10日、ふれあい長谷で、長谷地域づくり協議会主催のふれあい喫茶が開かれ、約60人が利用しました。この日のメニューは、ボランティアのみなさん手作りの「紫芋のようかん」や「切り干し大根のサラダ」など。訪れた人たちは、終始笑顔で、こころのこもったもてなしとふれあいを楽しんでいました。このような取り組みが、地域の「きずな」をつくり、こころの通う地域づくりにつながっています。

●主な内容

特集 古里の暮らしを守る	2～13
さよう文化祭	16～17
佐用の味料理コンクール	22
FLASH NEWS (まちの話題)	30～33

古里の暮らしを守る

みなさんがお住まいの集落は、10年前と比べどう変わりましたか。そして、10年後の将来はどうなっていると思いますか。全国的に農山村や離島では、今、地域社会が苦境に立たされています。それは、これまで持っていた能力を維持できなくなった集落Ⅱ『限界集落』が増え、互いに助け合う暮らしや、培ってきた風土が崩れかかっているからです。そんな情勢のなか、中山間地域に存立する私たちのまち「佐用町」。この社会現象は、私たちが古里の将来を考え、地域づくりを進めるとき、絶対に避けては通れないとても大きな課題です。そこで今月号では「住民力」をテーマに、苦境に立つ地域社会と本町の地域づくりについて考えます。



写真は目高集落。この地に住んだ先人の汗と英知の結晶である美しい石垣と家なみ。こんな風景をいつまでも後世に伝えるために、またこの地の暮らしを守るために、今、私たちは何を考えるべきでしょうか。



**限界集落とは
共同体機能を失った集落**

「限界集落」。この言葉は、長野大学(当時は高知大学)の大野晃教授が、農山村の研究を進めるなかで提唱したものです。「集落人口の50%が65歳以上の高齢者になっている状態の集落」と定義され、「冠婚葬祭などの行事、農作業や道づくりなど、さまざまな営みが継続困難となり、互いに支え合う「共同体」の機能を失った集落のことです。(区分定義は下記の表①参照)

**佐用町の現状
12%が限界集落**

高齢化率が30%を超える佐用町。そんな本町に限界集落や準限界集落は、いくつ存在するのでしょうか。本年10月末日の住民基本台帳のデータで、町内の142集落を調査すると表②のとおりとなります。限界集落の数は17集落で12.0%、準限界集落は46集落で32.4%。両者で44

4%となり、多くの集落が定義のなかへ含まれてしまっています。

**高齢化率だけで判断はできない
でも将来の暮らしは**

限界集落だからといって、必ずしも集落の営みができなくなるわけではありません。集落活動のさまざまな場面で高齢者のみなさんが活躍し、卓越した知識と経験で、集落運営を支えています。よって、高齢化率のみで集落の力を計るのは、少々乱暴な話なのかもしれません。

しかし、それは現時点での話。今は集落の暮らしを維持できても、将来はどうでしょう。本町の少子・高齢化は、速度をゆるめることなく進んでいます。このままでは多くの集落が、いつか集落機能を失ってしまうことが懸念されます。

本町の現状は、私たちが今、この問題を真剣にとらえなければならぬ時期であることを物語っています。

■限界集落などの区分と定義 (表①)

区分	定義	内容
存続集落	55歳未満人口比50%以上	後継ぎが確保されており、共同体の機能を次世代に受け継いでいる状態
準限界集落	55歳以上人口比50%以上	今は共同体の機能を維持しているが、後継ぎの確保が難しく、限界集落の予備軍となっている状態
限界集落	65歳以上人口比50%以上	高齢化が進み、共同体の機能維持が限界の状態
消滅集落	人口ゼロ	かつて住民が存在したが、完全に無住の地となり、文字どおり集落が消滅した状態

■限界集落などの状況 (表②)

	佐用地域	上月地域	南光地域	三日月地域	合計	比率(%)
集落数	58	38	20	26	142	—
限界集落数	5	11	0	1	17	12.0
準限界集落数	22	10	9	5	46	32.4

平成20年10月末日の住民基本台帳データにて算出

第一章

誇りを胸に 暮らししを守る人たち

集落での暮らしを守り、共同体としての限界を超えないためには、私たちは今、何をしなければいけないのでしょうか。みなさんは、住み慣れた集落に愛着を持っていることでしょうか。集落を愛する強い気持ちこそが、限界を超えない大きな原動力。大切なのは「この地に住む誇り」と「集落と向き合う目」です。ここでは、この地に住むことの誇りを胸に、真剣な目で集落の現状と向き合い、将来を見つめる人たちを紹介します。

交流を始めて11年。 棚田は私たちの宝物

田和集落自治会長
中川浩一さん

手入れされた美しい棚田。先人から引き継いだこの宝物を生かし、ここでは都市住民との交流事業が続いています。美しい棚田に誇りを持ちながら。

「限界集落やけど

どこにも負けへんよ」

「うちの集落は、町内のどこの集落にもひけをとりません。集落機能も連帯意識も絶対に負けへんよ」と胸を張って話すのは、自治会長の中川浩一さん。

田和集落は、20戸に約40人が住む、町内では比較的小さ

な集落の一つです。そんな田和集落は現在、高齢化率は50%を超え、限界集落と位置づけられます。

「定義上、限界集落ということを知っています。でも、まだまだ限界ではありませんよ」と中川さんはキッパリと言います。実際、町内の集落のなかでも、活動は盛んです。その活動のなかに、棚

田を活用した都市住民との交流事業があります。

棚田を築いた先人に 申しわけなかった

棚田を生かした交流は11年前から始まりました。「この11年の間で、集落はとも変わりました」とこれまでを振り返りながら、中川さんはゆっくりと話します。11年前





④美しい棚田は、四季を通じて、さまざまな表情を見せてくれます（写真は収穫直前の棚田）

⑤明石市から稲刈りに訪れた黒崎篤さんのご家族。「棚田以外に、集落の人たちにも魅力を感じます」と田和集落をお気に入りのようす

は、集落の人たちの棚田への関心は低く、荒廃田が目立ち、雑木も生え始めていました。「この宝物を築いてくれた先人に申しわけなくてね。しかし、県と景観保全の協定を結んで、実際に交流を始めると集落住民の気持ちが一つになっ ていきました。結局、集落は自分たちが守らんとな」と中川さんはうれしそうに話します。

現在田和を訪れるボランティア団体は2つ。京阪神に母体を持つ団体と、もう一方は、たつの市にある西播磨文化会館の高齢者文化大学を中心とする団体。それぞれ月1回、草刈り作業や自分たちの好きな農作業を行い、農業体験を楽しんでいます。

集落には、当時から高齢で草刈り作業ができない人も増えていました。

「草刈りは事前にお願 しておくと、きちんと作業をしてくれ、管理上とても助かり

ます。また、ボランティアの人たちは、集落の連帯意識を保つ上でも、欠かせない人たち。感謝しとるんや」。

生活課題は 農業だけではない

今は観光バスやカメラマンが年中訪れるようになった田和集落。大きな自信につながりました。しかし、良いことばかりではありません。まだ課題は山積んでいます。

「葬式は隣保でやりにくくなってきた。だから、集落の人たちみんなで力を合わせてやることを考えんと」「高齢者の足（地域交通）の問題。これも早急に考えていかんと」と集落の将来を憂いながら話す中川さん。課題が多いだけに、表情も厳しくなります。「でもみんなの力で、『自分たちの暮らしを、自分たちの力で守ろう』と機運を高めれば」と集落の力を信じ、集落づくりへの挑戦は続きます。

集落は自分たちが守らんと

中川さん



田植えシーズン恒例の、ボランティアと集落で行う田植え作業。共同作業が集落内の連帯感と愛着、棚田への誇りをはぐくんでいます

伝統が築く集落の力

平松自治会長
紙名孝さん
平松武者踊り保存会会長
春井政樹さん

9月号で紹介した平松集落の武者踊り。江戸時代から引き継がれてきた文化を守り続けること。集落みんなの「共通の夢」が、集落の誇りを守っています。



手作りの衣装を身にまとい、演技にも力が入ります (8月14日)

集落のみんな

守ってきた伝統

夏の夜、練習会場である平松集落の吾勝神社は、たくさんの人たちでにぎわいます。

「今年も4年ぶりの武者踊りの公演。気合が入ります」と話すのは、平松武者踊り保存会会長の春井政樹さん。「8月14日の公演に向けて、6月下旬から練習を始めていますが、みんな忙しいにもかかわらず、本当に熱心に参加してくれ、ありがたく思います」と春井さんは、うれしそうに話します。

平松の武者踊りは、この集落に江戸時代から続く伝統文化。「たくさんの人たちが協力してくれるんや」と話すのは自治会長の紙名孝さん。集落の人たちは、公演を成功させるため、力を合わせま

す。「衣装は手作り。集落で手の空いた人たちが、細部の装飾にもこだわって作り上げてくれる。大変な作業や」と語気を強め、紙名さんは話

します。「武者踊りは、みんなの誇りなんやろうな。それで育った人たちがばかりやから」と西氏は声をそろえます。もちろんお二人も、この伝統ある踊りに誇りを持っていきます。

伝統がはぐくむ

集落内の強いきずな

武者踊りの公演がない年も、夏になれば、練習が行われています。「練習が集落内の世代間交流にもつながっている。これが一番重要やと思う」と、紙名さんは練習の副産物の重要性にもふれます。そして、「交流のなかで、踊りだけではなく、郷土愛の継承も行う

ていきたいな。難しいことやけどね」と力を込めて話す紙名さんと春井さん。

平松集落は、高齢化率も20%超。定義上、限界集落ではありませんが、それ以上に、伝統文化とともに引き継いできた郷土愛が、集落への愛着をはぐくみ、集落の将来を強く支えています。

郷土愛も継承したい

紙名さん
春井さん



写真右が春井さん、左が紙名さん。伝統を守る中心人物



長年の経験で手際よく調理され、出荷準備が進みます

農産物加工で輝く集落を

集落のみんなが、住み慣れた場所で、生き生きと輝くことができること。一人ひとりの生きがいとやる気が、集落の明るい将来を築いています。

徳平集落自治会長
小林晴良さん

いきいき加工グループ
古岸信子さん

「このままやと

集落はアカン」

「将来、集落が元気を失ってしまう」と自治会長の小林晴良さんが、集落の将来に危機感を持ち始めたのは、今から3年前。徳平集落は28戸の集落。当時から寝たきりの人も増えていました。

そして小林さんが考えたのが、農業を生きがいにする人が多かったこともあり、集落に農産物加工所を設立すること。「加工所があれば料理好きな女性も活躍できる。これしかないと思いました」。

**集落のみんなに
積極性が見えてきた**

平成17年秋「徳平集落いきいき加工所」は発足しました。最初はうまく運営できるのか心配だったそう。「でも今は楽しくやれています」と加工



出荷を終え、一息つく古岸さん

グループの中心人物である古岸信子さんは笑顔で話します。主要商品は、もち、おかき、おこわ、漬物など。出荷先の味わいの里三日月では、評判も上々です。

「私らが作った野菜を、集落の女性が加工し出荷する。農業にさらにやりがいを感じ

てきました。また女性にも積極性が見えてきたな」と小林さんはうれしそうに話しました。

一人ひとりが

輝ける場所に

「加工メンバーの後継者をいかに育てるかが大きな課題やね」と話す小林さんと古岸さん。メンバーの高齢化も進んでいます。

「課題も多いけれど、加工所は集落のシンボル。みんなの協力で大切に守りたいなあ」とやさしく語る小林さん。「みんなの取り組みで、集落が潤い、みんなが輝いたら一番ええな」と小林さんは将来の夢を語りました。

課題は後継者を育てること

小林さん
古岸さん

各地の

「なにくそ魂」

「なにくそ」という言葉は、気持ちを奮い立たせるときによく使います。「なにくそ」と、苦境に立つ地域を再生する動きは、全国の農山村に広がっています。10月25日、朝来市で「限界集落と住民力」をテーマとした「なにくそ限界まちづくりフォーラム」が開催されました。県下から多くの関係者が集い、地域社会の将来について議論が行われました。また、本町からも20人が参加。参加したみなさんは、それぞれ、今後の地域づくりのきっかけをつかみました。

基調講演

限界自治体からの報告

農山村の魅力を見直そう

高知県大豊町

岩崎憲郎町長



集落」という概念の発祥の地になったとも言われています。岩崎憲郎町長は、高齢化が進み、課題が山積するなかでも、現状を打破するヒントを、参加者に示唆しました。

大豊町では地域資源を生かす、都市住民や企業と滞在型の交流を進めています。また、こんな取り組みが、積極的に地域づくりに参画する人々を育てています。

85集落中
56の限界集落が存在

高知県の東北端、愛媛県と徳島県に隣接する四国山地の真ん中に、大豊町があります。総面積約315平方キロ、人口約5、200人のこの町は、町全体の高齢化率が50%を超え「限界自治体」と呼ばれています。また85の集落中、56の限界集落が存在し、「限界

農山村の日常は
都市部では「非日常」

山菜がとれ、田植えがあり、収穫がある。そして様々な伝統行事や文化がある。農山村に住む者にはごく日常的なこととです。しかし、都会に住む人にとって、農山村の暮らしや文化は「非日常」なことばかり。「農山村の魅力を再度見直すことが大事」と岩崎町長は参加者に語りかけます。

農山村に今
追い風が吹いている

「環境」や「食の安全」の危機が叫ばれる昨今、「農山村に追い風が吹いている」と時代を読む岩崎町長。「農山村が持つ田畑と山の価値が、

改めて見直される時代を迎えた」と岩崎町長は話します。きれいな水で丹精こめて作る農産物は、安全でおいしい、また山林は二酸化炭素を減少させ、災害から国土を守ります。農山村にとって農林業の営みは、脈々と受け継いだ文化です。この文化の貴重さや重要性を、全国に発信することが農山村再生のかぎである」と岩崎町長は強く訴えます。

最後に「限界自治体である大豊町での地域再生の成功は、全国の農山村の大きな成果となることでしょう。町民ともいかにがんばりたい」と、岩崎町長は今後の意気込みを語りました。

参加者の

ひとつこと

淀集落自治会長
有本長治郎さん

私の集落も高齢化率が50%を超える限界集落。高齢化率が90%を超える隣保も存在し、危機感を抱いています。その現状の打開策を考えるため、参加しました。

印象に残ったのは、岩崎町長の「山村の暮らしや日常は、都市部の人には、とても楽しい非日常であること」というお話。これを参考に、集落づくりに励みたいと思います。

自主財源を確保し 地域の自立をめざせ 分科会の主な意見

- 子どもは地域の元気の源。子どもの少ない集落や地域では、子どもの山村留学は、地域活性化にとっても有効だ。
- リーダー的な人材は、実際の取り組みのなかで育つ。まずは実践を。
- 行政に頼らず、自主財源を持ち、地域の自立を図らなければならない時代だ。
- 無償ボランティアは、最初は良いが長続きしない。心とふところが豊かにならなければ、地域づくりは前進しない。
- 住民同士、集落同士は当然のことながら、都市部の人たち、都市部の企業との連携が必要だ。
- 集落を維持するには、集落に規約を持ち、決まりを守る体制を整備することが必要だ。
- 自分が住む集落に、誇りを持つこと。それが一番重要だ。
- 都市住民との交流も、そろそろ有料にするべきだ。
- 高齢者を対象にした各種講座、大学があるが、学んだことを、地域に生かせる支援を。また、学んだことをどう地域に生かすか、一人ひとりが考えなければならない。
- 元気な高齢者が集まる老人クラブ。老人クラブの活性化が、集落や地域の活性化につながっていくのではないだろうか。
- 集落に、だれでも何でも言える場が必要。みんなの参画で、地域社会はあらたなステップを踏む。
- 大学を活用しない手はない。より高度な情報を得て、地域づくりに生かそう。



分科会

「交流」「新しいコミュニティエリア」「学びと気づき」 県下の活動事例をもとに議論

地域社会が抱える課題を、参加者みんなで考えるため、分科会が行われました。

分科会では「交流」、「新しいコミュニティエリア」、そして「学びと気づき」の3つのテーマ設定をし、それぞれ事例発表を交えながら、テーマに沿った議論が行われました。

事例発表では、田和集落

の「棚田交流人農業ボランティア」、神河町の山村留学「山びこ学園」、朝来市の「奥銀谷地域自治協議会」と「与布土地域自治協議会」、丹波市のNPO法人「神楽の郷」、養父市の「岩崎地区むらづくり委員会」、県の「西播磨文化会館高齢者文化大学院限界集落研究班」から、示唆に富んだ報告がありました。



桑野集落まちづくり活動推進員
柴田義美さん

私たちの身のまわりには、私たちも気づかない魅力がたくさんあると思います。それらの魅力を最大限に生かせば、若者が定住したい地域づくりは可能だと信じています。みなさんの取り組みを参考に、魅力ある地域づくりをめざします。



土井集落自治会長
飛岡正俊さん

集落規約の整備や、役員や団体の役割を明確に整理する必要を感じています。そうすることで、集落に住む一人ひとりが、自分の役割を認識し、集落を支える力につながると思っています。

手をつなぎ 地域に夢を描こう



地域をあげて、子どもを見守ります
(上月地域づくり協議会)



子どもたちに紙すき体験を
(石井地域づくり協議会)

一人ひとりの暮らし、先人が築いた宝物 みんなで守らなければ

一人ではどうにもならない
ことでも、何人が集まると、
知恵と力を出し合えば、とて
も大きな力を生むことができ
ます。同様に、一集落だけで
はどうにもならないことでも、
ほかの集落の人たちと連携す
れば、大きな力を生むことが
できます。実際に、消防団
組織や農業経営などの場面で、
一定の集落が連携をとって機
能を補完・拡充している例も

多くあります。
美しい田園風景や地域の宝
物を守ったり、清流やホタル
などを保護・育成したり、さ
らには地域の子どもや高齢者
の見守り活動を行ったりする
ことは、激しい人口減少と少
子高齢化のなか、集落単独で
は少しずつ難しくなってきました。
これらのことから、今後、
私たちの暮らしを守るには、

これまで、集落の底力や町外の「住民力」にふれました。しかし、力が出せる集落ばかりとは限りません。集落は私たちの生活に一番密着した自治組織だけあって、防犯や防災、農林業、福祉など守備範囲は広く、多岐にわたります。そのため、どうしても力を発揮できない集落が生じることが予想されます。周辺の集落がまとまり、足りないことを補いあって、暮らしを守ること。今後はこの仕組み、「地域づくり協議会」の取り組みが重要です。



地域と子どものきずなをつくる「ふれあいキャンプ」
(長谷地域づくり協議会)

●特集 吉里の暮らしを守る



みんなで参加のふれあい運動会
(徳久地域づくり協議会)



高齢者を犯罪から守るための研修会
(三日月地域づくり協議会)

↑
集落の努力と平行し、集落同士が支えあっていることが必要であるといわれます。
その仕組みが「地域づくり協議会」。この組織は、複数の集落をつなぐ新しい住民自

治組織として、お互いに住む人の顔がわかる、おおむね小学校区をエリアとして発足しました。集落同士が助け合い、暮らしを守り、地域がさらに発展することをめざして。

初動期の地域づくり協議会

今は人の輪づくりに尽力

13の地域づくり協議会は、平成18年に組織されました。活動を始めてから、今年で3年目を迎えます。この3年間は、まったく何もない状態からのスタートで、小さなことから積み重ねの連続でした。まずは集落の枠を超え、みんなが仲良くなるのが急務でした。そのため「人が集まること」を中心に、ふれあい交流事業など、人の輪づくりに力が注がれています。

最近では、安全・安心の地域づくりに向けた防災訓練事業や防犯研修会の開催、清流千種川の保全活動、地域に眠る宝物の発掘と、それらを守る育てる活動、高齢者などの生活の足である地域交通問題への取り組み、暮らしの課題把握に向けたワークショップの開催など、地域の人たちの参画を得て、さまざまな分野で、特色ある活動が展開されつつあります。



20年ぶりに復活。にぎわいを見せた久崎市
(久崎地域づくり協議会)



佐用・江川地域の協働事業「姫路鳥取線ウォーキング」
(佐用地域づくり協議会と江川地域づくり協議会)



ウォーキングで地域の良さを再確認
(中安地域づくり協議会)



地域の憩いの場「ふれあい喫茶」
(三河地域づくり協議会)



宿場町のまちなみを生かし、大名行列
(平福地域づくり協議会)

今後、私たちがすべきこと

地域に夢を描き行動すること

未来を切り開く

「夢」を描こう

戦後間もないころ、荒廃した日本の地域社会では、生活に必要な道路や橋などの整備が急務でした。

行政機能が弱体化していた当時、自分たちの力で、地域を何とかしなければ、生活ができない時代でした。みんなが集会所に集まり、議論し、知恵を出し合い、自らの出役作業で、自分たちの暮らしや生活空間を切り開いてきました。

その過程で、みんなが地域の現状と将来を真剣に見つめ、共通の「夢」を持っていました。そして、お互いに助け合う風土や強固な連帯意識をはぐくんできました。これが、地域

社会の原点です。

戦後から60年。社会状況は大きく変ぼうをとげました。しかし、地域社会の再構築を考えると、この原点に立ち返ることが重要なのではないのでしょうか。

なかでも、今の私たちに必要なこと。それは戦後の人たちが地域の将来に「夢」を描いて、未来を切り開いたように、私たちも地域に「夢」を描くことではないでしょうか。

地域づくりの羅針盤 「地域まちづくり計画」

各地域づくり協議会は、地域の夢や将来像を明確にするため、「地域まちづくり計画」の作成に着手しています。

この計画の作成で重要視し

まちづくり推進会議（概念図）

佐用町の住民自治推進と生涯学習社会づくりの道筋をつくる場

- 住民のニーズや意向を反映させる機能
- 生涯学習によるまちづくりを総合的に計画・推進する機能
- 協働のまちづくり推進の仕組みやルール決定など調査研究機能
- 関係行政機関・団体などとの連絡・調整機能

生涯学習部会

生涯学習の推進方策の審議、生涯学習活動の検討・評価

まちづくり部会

自治基本条例の策定、地域自治活動の検討・評価

〇〇〇〇部会

新たな行政課題に対応する部会

※概念図の部会は、仮のものです

まちづくり推進会議 を設立します

住民自治と、生涯学習による社会づくりを推進するため、「まちづくり推進会議」を、来年1月に設立します。

また、旧町単位の地域づくりを推進する「まちづくり協議会」もあわせて設立します。

『夢』は人に力を与え、苦難に立ち向かう勇気を与えてくれます。人は『夢』を持つと、自らをみがき、着実に前進と成長を始めます。

みなさんは、自分が住む地域に、『夢』を持っていますか。「人口がどんどん減っている」「子どもや若者が少なく活気がない」。明るい将来像がつかみにくいなかで、それはなかなか難しいことかもしれません。しかし、私たち一人ひとりが、そんな地域社会の現状から逃げることなく、将来を真剣に見つめ、行動すれば、人と同様、地域は力強く前進を始めます。

平成18年に、国土交通省が行った「過疎地域等における集落の状況に関するアンケート調査」によると「今後10年以内に消滅」または「消滅する可能性がある集落」は、全国で2,600余り存在すると試算されています。そんな暗い現状を打破するために、私たちが今、やらなければならないことは何か。

今回ご紹介したフォーラムでは、タイトルにもあるように、『なにくそと思う気持ち=なにくそ魂』がいかに重要かを、参加者みんなが共感しました。また、高知県大豊町の岩崎町長はフォーラムのなかで「大豊町は自ら地域の将来を考え、自ら行動する町民『積極人口』が、他の自治体より多い。町の未来はある」と話されました。つまり地域社会を支えるには、単に人口の問題だけではなく、『なにくそ』と行動する人口、『積極人口』がキーになるということです。

これは本町も同様のこと。各集落や地域づくり協議会で、地域の将来を自分たちで考え、夢を描くこと。そして自分たちで行動し、汗を流す人たちがどれだけいるか。このことが、本町の地域社会の将来を大きく左右します。地域社会は、地域に住む人々の生きる姿そのもの。『夢』が「住民力」を向上し、「住民力」が地域を創造します。

まさにこれからが正念場。今後、本町の「住民力」の真価が問われます。

「夢」と「なにくそ魂」が古里を守る



地域をあげて防災訓練
(幕山地域づくり協議会)



地域づくり計画作成に向け、ワークショップ
(海内地域づくり協議会)

↑
ていることは、計画書を作る
ことではありません。いかに
多くの人たちがかわって、
計画づくりが行われるかとい
う過程です。

そして、より多くの人の意
見を吸い上げ、地域全体で共
通の「夢」をつくりあげよう
としています。

たくさんの人々の夢が描か
れるこの計画は、平成21年度
中に完成します。その後、計
画に基づいて、長期的な地域
づくりが、町内各地で行われ
ます。新たな枠組みのコミュ
ニティを創造しながら、明る
い未来に向けた地域づくりが
始まります。

まちづくり推進会議の

委員を公募します

まちづくりに思いのある人、ぜひ
参画してください。

■募集人数 若干名

■応募方法 400字程度で、まち
づくりへの思いやアイデアをまと
め、役場まちづくり課まで提出し
てください。様式は任意です。

■募集締切 12月19日(金)

■その他 ご応募いただいたなかか
ら、書類審査などで選考します。

■応募先・お問い合わせ

まちづくり課 ☎82・0664



登城イベントに参加したみなさん



インタビューにこたえる西崎さん

シリーズ 共生の郷づくり

ご長寿おめでどうございませす

「江川地区ふるさと祭り」で百歳をお祝い

11月9日、江川小学校体育館で「江川地区ふるさと祭り」が開催されました。

この行事は、この地域で平成3年から行われる伝統行事。子どもたちの授業参観のあと、体育館で子どもたちの演技や、日ごろから磨かれた特技の披露、また丹精込められた作品展示などが行われ、会場を訪れた人たちは、秋の楽しい一日を過ごしました。

また同地域で百歳を越える西崎優喜美さん（淀）、廣畑トモヨさん（大島）、細田マ

スエさん（大島）の3人のご長寿とご健康をお祝いする「百歳万歳」も行われるなど、会場は温かい雰囲気になりました。西崎さんはステージで「感謝の気持ちでいっぱいです」と、元気にインタビューにこたえました。

上月の歴史と文化を楽しむ

上月地域づくり協議会が「上月城まつり」を開催

11月9日、上月歴史資料館周辺で、上月地域づくり協議会主催の「上月城まつり」が開催されました。

このお祭りは今年で2回目。地域のシンボルである上月城をメインに、地域文化を楽しむ、歴史にふれることを目的に行われているものです。会場では、上月城の歴史説明と登城イベントが行われたほか、上月太鼓の演奏、タ

カのフライト実演、けん玉、手品、上月獅子舞、紙すき実演、ビンゴゲーム、各種ハザードが行われ、参加者のみなさんは、秋の楽しい一日を過ごしていました。

実行委員長の古本明生さん（九万）は「地域のみなさんの協力で、今年も実施することができました。みなさんの協力に本当に感謝します」と話していました。

佐用町への定住希望者のために

求む 貸し家情報

佐用町では、過疎化に対応するため、賃貸が可能な、空き家情報を収集し、都市部などからの移住希望者に情報提供をしています。

畳やふすまの張り替えなど不要です。空き家を貸しても良いというかたは、下記までご連絡ください。

■お問い合わせ
商工観光課 ☎82-0670

ザ!久崎市を開催

とき 12月21日(日)

午前11時～

ところ 久崎商店街など

(駐車場：久崎小学校)

久崎地域づくり協議会では、恒例の久崎市の開催を計画しています。住民手づくりの歳の市をお楽しみください。

【内容(予定)】

集落・各種団体による模擬店(しめ縄、生花、農産物、特産品などの販売)や、ステージイベント(エイサー倶楽部ほか多数)

■お問い合わせ 久崎地域づくり協議会
☎86-1210 (上月支所地域振興課)



地域の子どもたちもがんばりました



川に幼虫を放流する子ども児童たち

自然を生かして環境学習 中安地域づくり協議会がホタルの幼虫を放流

中安地域づくり協議会まちづくり部会では、11月4日、西播磨県民局の協力を得て、中安小学校3年生児童8人と先生3人、同協議会メンバー6人で、ホタルの幼虫を校区内の川に放流しました。

同協議会では、子どもたちの環境学習の一環として、昨年と同小学校3年生とホタルの幼虫を飼育しています。今年も、協議会メンバーが、えさになるカワニナを採取

し、児童が幼虫を飼育。同県民局の指導を仰ぎながら、世話をしてきました。

今回放流した幼虫は、体長が1.5センチ程度で約50匹。児童たちは「大きなホタルなつて帰ってきてね」と声をかけながら放流していました。

同協議会会長の篠倉京一さん(小山)は「子どもたちが、古里の環境に関心を持つ良い機会。今後も継続していきます」と話していました。

たくさんさんの笑顔であふれる 幕山地域づくり協議会が「ふれあい祭り」を開催

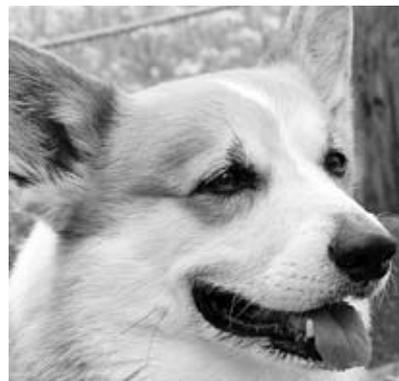
幕山地域づくり協議会主催の「第3回幕山ふれあいまつり」が、このほど、幕山地区センター周辺会場で開催されました。当日は小雨の降るあいにくの天気でしたが、会場は、300人を超える参加者でにぎわいました。

会場を訪れた人たちは、幕山小学校児童や同保育園児らのかわいらしい踊りやマジックショー、地元の美術愛好家らの創作作品展(ふれあ

いギャラリー)を見たり、テントバザーやチャリティーオークション、ビンゴゲームを楽しんだりと、ふれあいを楽しんでいました。

同協議会会長の豊福政夫さん(大垣内)は「あいにくの天気となりましたが、多くの人に来てくれ、たくさんさんの笑顔を見ることができました。来年も実施します」とうれしそうに話していました。

犬は何も悪くない。飼い主のマナーです！ 犬を散歩したとき 必ずふんの後始末をしてください



犬のふんについての苦情が多く寄せられています。道路や公園、他人の土地などは、犬のトイレではありません。ふんが放置されると、不衛生なうえに、多くの人に不快な思いをさせてしまいます。

犬を散歩するときは、次のことを必ず守ってください。

- ① 飼い犬を綱や鎖などでつなぎ、制御できるように心がけてください。
- ② ふんを処理するための回収袋を携行し、ふんをきちんと処理をしてください。

ペットも人も共存する社会をつくるため、きちんとマナーを守りましょう。

■お問い合わせ 住民課 ☎82-0660

2008

さよう文化祭

11月2日から3日を中心に、2008さよう文化祭が開催されました。各会場とも、芸能発表、作品展示、バザーなどさまざまな催しが行われ、たくさんの人たちでにぎわいました。



力作が並ぶ展示会。「これ、上手やねえ」



佐用高校家政科と佐用保育園児によるファッションショー



会場を沸かせたスターダストキッズの創作ダンス



多くの人でにぎわったお茶席



フィナーレを飾った佐用邦楽会と当日出演者のみなさん



息を合わせて「ソーレ！」(なわとび大会)



作品展にも力作が並びました



愛らしいダンスを披露した久崎保育園の園児たち

佐用会場

上月会場

南光会場



日用品福祉バザーにはたくさんの人が



自然薯特産部会のテント内で、販売のお手伝いをした上津中学校有志の3人



優雅な太極拳を披露（太極拳ひまわり会）



大正琴の音色にあわせ踊る子どもたち（すずらん大正琴教室）



三中ソーランを元気に披露した三日月中学校3年生有志のみなさん



上手にできたかな？（絵手紙教室）



バザーや特産品販売で、会場外もにぎわいました



オープニングを盛り上げた三日月保育園の園児たち

三日月会場

郡美術協会賞
 早稲 蔭山 泰子
 洋画 篠川 忠敬
 書画 西川 博敏
 写真 工藤 昌秀
 工芸 奥原 敏和

（山平）
 （林崎）
 （宋葉市）
 （上郡市）

教育委員会賞
 早稲 祐保 明美
 洋画 小林 明日香
 書画 安松 一美
 写真 中石 豊
 工芸 渡邊 亮治

（下徳下）
 （山脇）
 （新徳）
 （宋葉市）

議長賞
 早稲 米田 三枝
 洋画 田中 礼子
 書画 坂本 則子
 写真 萩原 将弘
 工芸 間嶋 葵代子

（姫路市）
 （美作市）
 （仁位）
 （下尾）
 （榑田）

町長賞
 早稲 高山 智恵子
 洋画 寺本 三枝子
 書画 中島 喜美代
 写真 宮崎 義彦
 工芸 田中 安彦

（相市）
 （宋葉市）
 （美作市）
 （相市）
 （姫路市）

佐用郡美術展 入賞作品決まる

11月13日～16日の間、佐用勤労者体育センターで、佐用郡美術展が開催されました。部門ごとの入賞者は次のとおりです。（敬称略）

奨励賞
 早稲 三浦 行子
 洋画 鍋島 邦枝
 書画 春名 克二
 写真 榎本 富貴子
 工芸 井口 亘美
 川西 史碩
 矢田 和彦
 川内 和風
 鞍田 隆毅
 城内 隆毅
 安田 隆毅
 飛鷹 洋一
 高見 新一
 若尾 新一
 田村 元志
 濱川 由香
 岡田 恒子
 衣本 利美
 高橋 博子
 西田 邦雄

（左の市）
 （久崎）
 （美作市）
 （須安）
 （力方）
 （栄町）
 （相市）
 （奥金近）
 （庄山）
 （河崎）
 （美作市）
 （姫路市）
 （宍戸）
 （相市）
 （下徳下）
 （宋葉市）

佐用ライオンズクラブ賞
 早稲 藤木 久子
 洋画 青木 祥枝
 書画 舟引 遥香
 写真 藤田 育孝
 工芸 木村 和代

（上長尾）
 （西粟倉）
 （林崎）
 （姫路市）
 （美作市）



展示を楽しみみなさん



大切にしよう
家族のきずな

「人権まちづくりフェスタさきよう2008」で朗読された子どもたちの作文を紹介します。

「都会と田舎」

佐用高等学校2年 西田恵子さん



私が友人と神戸へ出かけた時のことです。神戸駅から車椅子の方が乗ってこられました。私はその時、はじめて車椅子の方が電車に乗ってこられるのを見ました。私の住んでいる町の駅では、見たことのない光景なので、失礼なことですが、思わずじっと見てしまいました。その方は駅員さんが持つて来られた組み立て式のスロープを使って、車両に乗り込みました。私が驚いたのは、電車が次の駅に到着すると、車椅子の方が乗っておられる扉の前で、駅員さんが組み立て式のスロープを持つて、待っておられたことです。駅から駅のほんの数分なのに、きつと神戸駅の駅員さんが、次の駅の駅員さんに、何両目の何番目の扉と、連絡されたのでしよう。車椅子の方は大きな荷物を持っておられたので、スロープがなければ電車を降りることはできなかつたと思えます。都会の交通機関は、何とい

う温かい心配りができるものかと感じた瞬間でした。私の住んでいる町の駅は無人で、線路は単線です。車両は一両か二両で、一時間に一本程度しか電車は来ません。私が神戸の電車を利用して、地元の電車との違いを実感したことが二つあります。一つ目は、乗り降りする際の段差です。神戸の電車は、スロープを使わなくとも車椅子の方が乗り降りできるくらい、段差は少なかったのです。が、地元では、電車とホームとの段差がとても大きく、私が普段乗り降りする時にさえ「高いな」と感じます。きつと小さな子供や高齢者は、より不便を感じておられるのではないのでしょうか。車椅子の方がこの電車に一人で乗られるのは、まず不可能です。

二つ目は優先座席のことで、神戸の電車では、優先座席には高齢者が座っておられたし、女性専用車両までありました。地元の電車では、車両が少ないため、登下校の時間帯に利用する電車は満員で、そのほとんどが高校生です。利用する人に比べて椅子の数が少ないため、優先座席にも高校生が座っているのが現状です。何のために優先座席を設けているのか分かりません。人はみな平等です。行きたいところがあれば自由に行けるよう、交通機関にも配慮が必要だと思えます。そして、私たちにも配慮が必要で、高校生ができることは、優先座席の意味を理解し、必要とされる方のために空けておくことだと思います。

いきなり多くのことを改善することは不可能でしょうが、少しずつでも良くしていけば、地元の電車だってもっと利用者が増えるはずで、そして、多くの人が気持ちよく電車を利用できるような気がします。ご静聴ありがとうございました。

(原文のまま)

12月10日は人権デー
12月4日～10日は人権週間

育てよう 一人ひとりの人権意識



- 国際連合は12月10日を「人権デー」と定めています。そして法務省と全国人権擁護委員連合会は、この「人権デー」を最終日とする一週間（12月4日～10日まで）を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及活動を展開しています。
- 本年度の「第60回人権週間」では、一人ひとりが主体的に豊かな人権意識を育てていくため、重点目標を「育てよう一人ひとりの人権意識」思いやりの心・かけがえのない命を大切に」と決めました。
- 重点事項は次のとおりです。これを機会に日常生活を「人権の視点」から見直してみましよう。
- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 高齢者を大切にすることを育てよう
- 障がいのある人の完全参加と平等を実現しよう
- 部落差別をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- 外国人の人権を尊重しよう
- H1V感染者やハンセン病患者などに対する偏見をなくそう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- インターネットを悪用した人権侵害は止めよう
- ホームレスに対する偏見をなくそう
- 性的指向を理由とする差別をなくそう
- 性同一性障がいを理由とする差別をなくそう
- 北朝鮮当局の人権侵害問題に対する認識を深めよう
- 人身取引をなくそう

お問い合わせ
生涯学習課 82・3336



園児に手話を教える委員のみなさん



清掃業務に取り組む藤縄さん(左)と本種さん(右)

「これからも 園児たちが人権学習

お友だちと仲良くします」

11月10日、三日月保育園で、人権擁護委員協議会佐用部会が、人権教室を開催しました。この教室は、次代を担う子どもたちが、将来、人権を尊重することの大切さと、必要性を理解し、豊かな人権感覚を身につけた人に成長するために実施されたものです。園児たちは、紙芝居を見た

り、イメージキャラクターとの交流やイメージソングの手話学習などを行ったりしながら、楽しく人権の大切さを学習していました。教室終了後、園児たちは「これから、お友だちみんなと仲良くします。悪いことをしたら謝ります」と元気いっぱい話してくれました。

障がいがあるかたの 雇用の促進をめざして

身心に障がいを持つかたが、社会で自立して暮らすため、働く場を確保することは、とても大切なことです。町では、国の障がい者の雇用の促進などに関する法律や、町の福祉計画にもとづいて、就労の場の確保に努めています。

11月からは「社会福祉法人佐用福祉会いちょう園」の施設で順次、雇用の場の確保に努めます。設利用者である本種千草さんや藤縄幸恵さんなどの3人のかたが、町の非常勤職員として、役場本庁第2庁舎や、佐用勤労者体育センターの清掃業務などを行っています。今後は、役場本庁だけでなく、各支所や出張所、文化センターなど、さまざまな公共施設で順次、雇用の場の確保に努めます。

参加者募集 精神保健福祉ボランティア養成講座

精神障がい者が地域で安心して暮らすためには、地域の人たちが「こころの病」を理解し、支えあうことが必要です。そのために、次の講座を開設しました。ボランティアはできないけれど「こころの病」を理解したいかたも、ぜひ参加してください。4回以上受講したかたに、修了証を授与します。

	日時	内容	講師・担当
1	1月19日(月) 午後1時30分～午後3時30分	開校式、ボランティア活動について	—————
2	1月30日(金) 午後1時30分～午後3時30分	こころの病気について 精神障がい者の福祉制度について	佐用健康福祉事務所と福祉課
3	2月10日(火) 午後1時30分～午後3時30分	デイケア事業に参加	健康課
4	2月17日(火) 午前10時～午前11時30分	「NPO法人あさぎり」の活動について	NPO法人あさぎり
5	2月27日(金) 午後1時30分～午後3時30分	閉校式、修了書授与、交流会	—————

■開催場所 第4回はNPO法人あさぎり「あさぎり作業所」。それ以外は、佐用健康福祉事務所

■申込締切 12月25日(木)まで

■申し込み・お問い合わせ 佐用健康福祉事務所 ☎82-2621

平成21年度

保育園入園児募集

お申し込みは1月7日から21日まで

町内の保育園では、家庭での保育が困難なお子さんをお預かりし、豊かな人間性を持った子どもを育成しています。

来年4月入園の受付を行いますので、希望されるかたは、受付期間内に手続きをしてください。

なお、現在入園中のお子さんで継続して入園されるかたは、家庭状況調査票（継続）などの提出が必要となりますので、現在入園中の保育園で手続きをしてください。また、時間延長保育をされているお子さんについては、更新手続きが必要となります。

■お問い合わせ 各保育園（下記）または福祉課 ☎82-0661

保育園名	定員	所在地	電話番号	備考
佐用保育園	120	佐用 320 番地 1	82-2946	乳児・時間延長保育
長谷保育園	20	口長谷 506 番地 1	83-2902	
平福保育園	45	平福 1408 番地	83-2225	乳児・時間延長保育
石井保育園	30	上石井 738 番地 1	85-0044	
江川保育園	30	豊福 83 番地 3	84-0001	
幕山保育園	30	本郷 571 番地 5	87-0009	
上月保育園	90	上月 923 番地 2	86-0103	乳児・時間延長保育
久崎保育園	90	久崎 285 番地 4	88-0011	乳児・時間延長保育
中安保育園	45	米田 103 番地	78-0040	時間延長保育
徳久保育園	45	下徳久 35 番地	78-0059	乳児・時間延長保育
三河保育園	45	上三河 98 番地	77-0028	時間延長保育
三日月保育園	90	三日月 1107 番地	79-2221	乳児・時間延長保育

※時間延長保育は、午後4時～午後6時まで実施しています。



申し込み要領

各保育園などで申し込みに必要な書類を配布しますので、ご記入のうえ、受付期間内に手続きしてください。

■申込書配付

【場所】 入園希望の保育園

【期間】 12月10日（水）～24日（水）

■入園受付

【場所】 入園希望の保育園

【期間】 平成21年1月7日（水）～21日（水）

※受付には入園されるお子さん同伴でお越しください。

■入園決定

平成21年3月中旬の予定。

■保育料決定

平成21年4月以降。

■年度途中（5月以降）の入園について

年度途中の入園は、定員に空きがあっても保育士の配置などの都合で入園できない場合があります。年度途中の入園を希望されるかたは、受付期間内にご相談ください。

特に産休明け、育休明けなどで、途中入園を予定されている場合は、必ず事前にお問い合わせください。

身近な医療機関で かかりつけ医を決めておきましょう

近年、救急医療を利用する人が増えています。安易な救急医療の利用は、病院への負担と、本当に救急医療が必要な人へのしわ寄せにつながります。身近なところでなんでも相談できる「かかりつけ医」を決め、救急医療を守りましょう。

また、小さなお子さんの急病やけがで、緊急に病院へ行く必要があるか迷った場合、県では、小児救急医療相談窓口を設け、専門のスタッフが病状への対処方法などを助言しています。

この季節、かぜなどの病気にかかりやすくなります。発熱などの症状が出たときに、「かかりつけ医」や電話相談を上手に活用しましょう。

小児救急医療電話相談窓口

■携帯電話、プッシュホン回線の場合 ☎#8000

■ダイヤル回線、IP電話の場合 ☎(078)731-8899

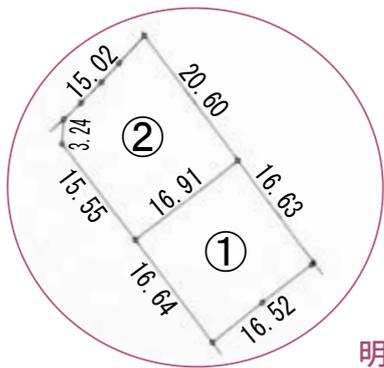
■開設時間

【平日・土曜】 午後6時～午前0時

【日曜、祝日・年末年始】 午前9時～午前0時

■お問い合わせ 龍野健康福祉事務所企画課 ☎(0791)63-5150

三日月地域茶屋地内の町有地を公売します



明細図



位置図

1. 公売物件の名称・数量
①所在地 佐用町三日月字折口 1008番10
地目 宅地
2. 公売の方法
地番 1008番20
地目 宅地
地積 319.48㎡
3. 公売日時
入札 12月10日(水)から12月16日(火)までの午前9時から午後5時(土・日曜日は除く)
4. 公売場所
入札 財政課
5. 代金納入期限
開札 町長室
1月30日(金)午後2時まで
6. 売却決定日時
12月17日(水)午後3時
7. 売却決定場所
町長室
8. 買受人の資格要件
①12月1日現在で引き続き3か月以上佐用町に住所を有する個人
②売却代金の一括払いの可能なかた
9. 入札最低価格及び公売保証金
入札最低価格
①14,006,740円
10. 公売入札・落札について
①入札に伴う書類は、役場財政課備え付けの書類とします。
②入札に際し、現地案内や現地説明会は行いませんので、あらかじめ公売財産、登記簿などを確認したうえで、入札してください。
③入札には、次のものが必要となりますので持参願います。
・印かん
・代理人が入札する場合は委任状(委任者の印かん証明書添付)

- ④落札者の決定については上記の見積価格を最低価格とし、最高金額を入札されたかたを落札者とします。なお、入札金額が同額の場合は抽選により決定いたします。
 - ⑤入札の取り下げは、入札期間内に限って行うことができます。
 - ⑥次順位買受申込の制度があります。
- お問い合わせ
財政課 ☎82・0820

参加者募集

～血圧が気になるあなたに～ 血圧教室を開催します

血圧は体の状態を表す目安の一つです。今までに「血圧がちょっと高め」と言われたことはありませんか。放っておくと、血管がだんだんもろくなります。さらに症状が進むと、血管が詰まったり、破れたりする「心筋こうそく」や「脳卒中」など、命にかかわる病気を引き起こすことがあります。そこで血圧の正しい知識を知り、将来薬を飲まなくてすむように、また血圧がコントロールできるように、血圧教室を開催します。

	日時	テーマ	講師・担当
1	12月17日(水) 午後2時～午後3時30分	血圧の新対処法 ～血圧をコントロールするコツをお教えします！～	尾崎内科医院 尾崎千尋 先生
2	1月15日(木) 午前9時30分～午後1時	おいしく体にいい食事 ～ひと工夫で上手に減塩～	役場健康課 管理栄養士
3	1月29日(木) 午後2時～午後3時30分	本当の血圧を知ろう ～自分で測る、自分でコントロールする～	役場健康課 保健師

- 開催場所 上月保健福祉センター
- 参加費 無料(第2回の調理実習参加者のみ材料代300円)
- 申込期限 12月10日(水)まで
- 対象 血圧が気になるかた、興味があるかた

■申し込み・お問い合わせ 健康課 ☎87-8020

最優秀賞に関本香さん（才金）の「きなこプリン」

佐用の味料理コンクール

南光地域福祉センター（センターひまわり）で、このほど、佐用農産物直売所連絡協議会主催の「佐用特産加工品／佐用の味料理コンクール」の審査が行われました。

審査委員長には、辻学園調理師専門学校の後喜光先生をお迎えし、応募総数 110 作品のなかから、書類審査を通過した 24 点の料理が、厳正な審査を受けました。

その結果、最優秀賞には関本香さん（才金）の「きなこプリン」が選ばれました。表彰式は 12 月 7 日開催予定の「佐用あじわい祭り」で行なわれます。

なお、入賞者は次のとおりです。（敬称略）



厳正な審査を行う為後先生



最優秀賞に輝いた「きなこプリン」

- | | | |
|---------------|-------------------------------|--------|
| 【最優秀賞】 | きなこプリン | |
| | 関本 香 | （才 金） |
| 【優秀賞】 | みそ入りごまだんご | |
| | 山根美穂 | （宍粟市） |
| | 和そばロールケーキ | |
| | 寺本恵子 | （早瀬 1） |
| | もち大豆とそばの仲良し揚げ | |
| | 山田美菜子 | （中上月） |
| 【特別賞】 | もち大豆コンニャク | |
| | 田川淳二 | （大阪府） |
| | もち大豆とみそとこんにやくと野菜の
なかよしおにぎり | |
| | 原田美奈子 | （南新町） |
| | こんにやく入りギョーザ | |
| | 濱田伊純 | （桑 野） |

- がんばった人たちに** にじふふたまる
- みんなのスポーツ** （敬称略）
- 第35回佐用郡少年柔剣道交歓大会**
- 開催日 10月26日（日）
- 場所 勤労者体育センター
*各部1位のみ掲載
- 【柔道団体戦の部】**
- | | |
|------------------|--------|
| 小学生の部 | 上月蛍柔剣A |
| 【剣道団体戦の部】 | |
| 小学低学年の部 | 上月剣友会 |
| 小学高学年の部 | 佐用双葉会 |
| 中学生の部 | 南光剣伸会A |
| 【柔道個人戦の部】 | |
| 保育所・幼稚園の部 | 寺本 照英 |
| 上月蛍柔剣 | 寺本 照英 |
| 小学1年生の部 | 上月 照英 |
| 三日月広道館 | 上谷海那斗 |
| 小学2年生の部 | 上月 拓真 |
| 上月蛍柔剣 | 上月 拓真 |
| 小学3年生の部 | 山口 想羅 |
| 上月蛍柔剣 | 山口 想羅 |
| 小学4年生の部 | 上月 哲史 |
| 上月蛍柔剣 | 上月 哲史 |
| 小学5年生の部 | 横山 潤 |
| 上月蛍柔剣 | 横山 潤 |
| 小学6年生の部 | 森本 啓太 |
| 上月蛍柔剣 | 森本 啓太 |
| 中学生の部 | 山田 琢己 |
| 上月蛍柔剣 | 山田 琢己 |
- 【剣道個人戦の部】**
- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 小学1・2年生の部 | 上月剣友会 | 児嶋 克哉 |
| 小学3年生の部 | 南光剣友会 | 豊岡 龍弥 |
| 小学4年生の部 | 南光剣友会 | 春名 茜里 |
| 小学5年生の部 | 南光剣友会 | 森崎 廉 |
| 小学6年生の部 | 佐用双葉会 | 盛崎 光基 |
| 中学生の部 | 上月剣友会 | 山西 葉月 |
- 第17回ビスラカップ 少女バレーボール大会**
- 11月8日、9日に上月体育館など7会場で、第17回ビスラカップ少女バレーボール大会が開催され、96チーム約千人の選手が参加しました。
- 参加チームには、全国大会優勝チームなど、強豪が西日本各地から集まりました。
- 町内では久崎ジュニアバレーボールクラブが決勝トーナメントに進出しましたが、惜しくも入賞を逃しました。

お詫びと訂正： 広報 11月号で掲載しました「佐用グランドゴルフ大会」の結果で、団体の部の優勝が、正しくは「大撫山A」でした。お詫びして訂正いたします。

12月は 公正・公平な 納税重点月間

納期限までに、きちんと納税される多くのみなさんと公平性を保つため、滞納整理は重要な課題の一つです。

そのため佐用町では、12月を「公正・公平な納税重点月間」とし、滞納整理などの取り組みを重点的に取り組みます。

税金は、私たちの暮らしをつくる大切な財源です。納期限を守り、きちんと納税しましょう。

■お問い合わせ

税務課 ☎82-0662



佐用の朝霧

水道管も冬支度を

寒くなると、水道管が破裂することがあります。

特に、次のような箇所は、早めに冬支度をしましょう。

- ① 水道管がむき出しになっているところ
- ② 水道管が北向きにあるところ
- ③ 風当たりの強いところにある水道管

■防寒方法

保温材を巻きます。蛇口が破裂しやすいので、完全に包んでください。手近なものとして、毛布、布などを利用して

ましよう。なお、上からビニールを巻いて保温材が雨に濡れないようにしてください。

■水道が凍って出ないとき

タオルをかぶせ、うえからゆっくりとぬるま湯をかけて溶かします。

熱湯をかけると破裂やひび割れすることがあります。

■メータの防寒

メータは、ビニール袋に発泡スチロールや布などを詰め、ものを、メータボックスのなかに入れ、段ボールなどを

かぶせて、保温してください。ただし、メータのうちは検針がしやすいよう取り外しできるようにしておいてください。

■水道管が破裂したとき

止水栓を閉めて、水を止めてください。破裂した部分に布かテープをしっかりと巻きつけて応急処置をし、町指定の水道工業者に修理を依頼してください。

■お問い合わせ

水道課 ☎86・1212

五代目桂米團治襲名記念 **米朝一門会**

新春おりひめ寄席

とき 平成21年 **1月11日** 日
午後1時30分開場 午後2時開演

ところ **おりひめ文化ホール**
(さよう文化情報センター)



新年最初の事業として、新春おりひめ寄席を開催します。桂小米朝を改め、五代目桂米團治襲名記念の米朝一門の落語会です。古典落語を追及しつつ、独自のセンスで新たな境地を拓いてきた米團治の落語のほか、桂ざこばや若手落語家も出演します。人間国宝であり、師匠であり、父でもある桂米朝の口上に、桂南光の口上も予定しています。新春の初笑いに、ぜひお越しください。

■入場料 3,000円(当日500円増) ※未就学児童の入場はご遠慮ください。

■出演者 桂米團治、桂米朝(口上のみ)、桂ざこば、桂南光(口上のみ)、桂雀三郎、桂団朝、桂しん吉

■お問い合わせ 生涯学習課 ☎82-3336

緊迫した雰囲気で行われた被災者の搬送訓練



ボランティアのかたから「このケア」の指導を受けるみなさん



チームワークが物を言うバケツリレーでの消火訓練



地域の人が大活躍 西播磨地域 広域防災訓練

11月16日、南光入スポーツ公園で、西播磨地域広域防災総合訓練が開催されました。

この訓練は、消防、自衛隊、警察、行政の緊密な連携体制の確立と、地域住民の防災意識の高揚と防災力の向上をめざし、開催されたものです。

同日午前9時に、山崎断層を震源とする地震が発生して、佐用町が震度6強を観測したことを想定し、初期消火訓練や、倒壊家屋からの人命救助訓練、炊き出し支援訓練など、さまざまな事態に対応した訓練が行われました。

本町からは、町消防団をはじめ、徳久地域づくり協議会のみなさんや、徳久小学校の児童や佐用高校、ボランティア団体など、多くの人たちが参加し、それぞれの場面で活躍していました。

参加した人たちは「山崎断層は、いつ大きな震災を引き起こし、私たちも被災者になるかわからない。良い経験をしました」と感想を話していました。

佐用クリーンセンターから お知らせ

年末年始の業務

年末は26日（金）まで通常業務です。
また、29日（月）は臨時開庁し、収集と搬入の受付を行います。年始は5日から開始します。

日	月	火	水	木	金	土
12/21	22	23	24	25	26	27
休	○	○	○	○	○	休
28	29	30	31	1/1	2	3
休	○	休	休	休	休	休
4	5					
休	○					

○ = 収集と搬入の受付を行う日

祝祭日の業務

12月23日（天皇誕生日）
1月12日（成人の日）

上記の祝祭日は、収集と搬入の受付を行います。

また、直接搬入は

■ **受付** 午前9時～午後4時30分

■ **料金** 100kgまで300円。以降、100kgごとに300円が加算されます。

■お問い合わせ 佐用クリーンセンター ☎82-0293



救命士からの ワンポイントアドバイス

今回は

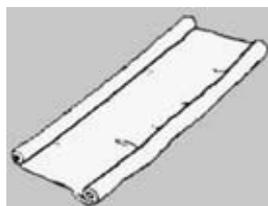
応急担架の作りかた

大災害が発生し、負傷者が多数発生した場合は、救急車だけでは運ぶことができません。住民のみなさんが助け合って、負傷者を救助することが重要となります。

そこで今回は、毛布や棒などを利用した、負傷者を運ぶための応急担架の作りかたを紹介します。

■毛布での作りかた

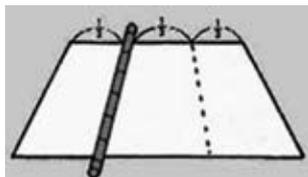
毛布の両端を中心に向かって丸め、4人以上で丸めた毛布の端を持って、搬送します。



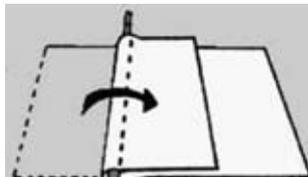
■毛布と棒での作りかた

人を乗せても安全な強さの2本ぐらいの棒と毛布などを準備します。

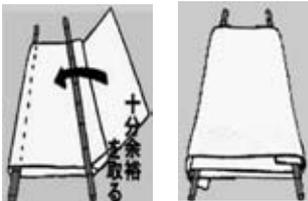
①広げた毛布の3分の1の所に棒を置きます。



②その棒を包むように毛布を折ります。

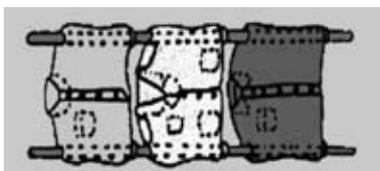


③折り返した毛布の端にもう1本の棒を置き、その棒を包み込むように残りの毛布を折り返します。



■棒と衣服での作りかた

棒2本と5着以上の上着を準備します。上着の第1ボタンと袖口のボタンをはずします。上着が裏返しになるように、棒の端を持ったまま棒の方向に脱がせます。これを繰り返します。



■お問い合わせ 消防署 ☎ 82-3872

シリーズ **ストップ温暖化**



省エネ生活 楽しく実践

町地球温暖化防止活動推進員

濱名育代さん（多賀）

日本の風景は美しく、日々様々な色に染まっていきます。この風景がいつまでも見られるように環境問題に取り組んでいかなければ、と思います。

今、地球温暖化が叫ばれ、原油高騰が家計を脅かす。こんなときこそ「地球と家計にやさしい省エネ生活」に取り組んでみてはいかがでしょうか。

【省エネ行動表】

省エネ行動	二酸化炭素削減量 (キロ)	年間節約金額 (円)
1日1時間テレビを見る時間を減らした	13.1	700
電灯をこまめに消す(白熱電球の場合)	8.1	430
冬のエアコン、室温20℃を目安にした	21.8	1,170
冷蔵庫に物を詰め込みすぎない	18.0	960
お風呂は間隔をあけずに入る	88.9	5,730
洗濯はまとめて洗いを心がける	2.4	3,950
運転するときは、加減速の少ない運転をする	68.0	3,980

(財)省エネルギーセンター

「NEW家庭の省エネ大辞典」より抜粋

<http://www.eccj.or.jp/dict/index.html>

ひと昔前のケチケチ節約と違って、今は無理せず楽しくエコライフ。節約した金額は家族のレクリエーションに使うなど、目標を決めてがんばるのもひとつの楽しみになると思います。さあ、今日からはじめましょう。

一部の例外を除き

野焼きは禁止されています

廃棄物の野外焼却、いわゆる野焼きは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」によって一部の例外を除き禁止されています。違反をした場合、規定によって罰せられます。

家庭から出るごみは、ごみ収集に出すか、クリーンセンターへ直接搬入するようにしてください。

また、事業所から出るごみも、事業者の責任で適正な処理をすることが義務づけられています。

ごみは、決められた方法で、適切に処理しましょう。

■お問い合わせ

住民課 ☎ 82-0660

すべての町民の暮らしを応援します

としょかん



だより

佐用町立図書館

佐用郡佐用町佐用2585 TEL 82-0874 FAX 82-0313

メールアドレス toshokan@town.sayo.lg.jp

ホームページ http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp

できごとなどに関する本や資料、また町内在住者や出身者の著作物を「郷土資料」として集めています。

個人や団体の刊行物では、エッセイ集や句集、歌集、『ふるさとの昔ばなし』など民話集、千種川生物調査資料、記念誌などがあります。詳細は図書館までお問い合わせください。そのほかの資料は次号以降でお知らせします。

としょかんボランティア「あそびせ隊」のおはなし会

- 日時 毎週土曜日 午後2時～2時30分
- 場所 図書館おはなしコーナー
- 対象 幼児・小学生
- 申し込み 不要

おはなし会「小さい人（5歳以上）」

- 日時 毎週日曜日 午後2時30分～3時
- 場所 図書館おはなしコーナー「宝化け物」
- 対象 小学3年生以上
- 日時 毎週日曜日 午後3時～3時30分
- 場所 図書館おはなしコーナー

- 申し込み 不要

図書館の郷土資料を

ご利用ください②

当館では、町内の歴史・文化

おりがみ教室

- 日時 12月20日(土) 午後3時～3時30分
- 場所 さよう文化情報センター
- 対象 3歳以上の子ども (保護者の参加も可)

12月のおりがみ「サンタ」と「トナカイのクリスマスカード」
申し込み 不要。おりがみをお持ちください。

上月文化会館 移動図書館「いなかの本だな」

1月の巡回日は8日(木)です。

図書館 カレンダー

12月 December 師走							1月 January 睦月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	4	5	6	7	8	9	10
7	8	9	10	11	12	13	11	12	13	14	15	16	17
14	15	16	17	18	19	20	18	19	20	21	22	23	24
21	22	23	24	25	26	27	25	26	27	28	29	30	31
28	29	30	31										

※色文字の日は休館日です。開館時間は午前10時～午後6時

ママプラザ だより



外遊びを通じて

周囲の山の木々が色とりどりに染まるなか、ビスラツ子ママプラザでは、外あそびの機会を多く取り入れるため、親子で自然のなかへ飛び出しました。

先日は、西はりま天文台公園へ出かけました。森のインスタラクターの古川由美さんから、木や草花の名前を覚えてもらったり、葉っぱや小枝を使って「かんむり」を作ったり、葉っぱで作った「さかな」で、さかな釣りごっこを楽しんだりしました。

自然とのふれあいは、周りの木が芽吹く、枯葉が落ちるなど、人工的なものからは得ることのできない四季の変化に、じかに出会うことができます。また、小さな虫たちとの出会いを通して、自然界に存在する命というものを感ずることもあります。

そんななかで、子どもたちは、命のあるものが成長し、変化していくことを知

り、感性が育っていくのではないのでしょうか。



葉っぱを使ってのさかな釣りのようす

★0歳児親子教室参加者募集

ママプラザでは、毎月0歳児を持つお母さんが集まって仲間作りをしています。初めての子育ては不安がいっぱい。みんなで知恵を出しあって、楽しく子育てしてみませんか。

くわしくは、各ママプラザまでお問い合わせください。

■お問い合わせ

- キラキラツ子ママプラザ ☎82・4108
- ビスラツ子ママプラザ ☎86・1153
- ひまわりツ子ママプラザ ☎78・0264
- みかづきツ子ママプラザ ☎79・3788

新着図書案内

2008.10.19 ~ 2008.11.13 受け入れ分の一部



●大人向けの本

哲学は人生の役に立つのか

木田 元／著 PHP 研究所

日本の皇室 -なぜ、菊の御紋なの？

久能 靖／著 PHP 研究所

イラク崩壊 -米軍占領下、15万人の命はなぜ奪われたのか

吉岡 一／著 合同出版

闘う政治 -手綱を握って馬に乗れ

長妻 昭／著 講談社

よくわかる裁判員制度と刑事訴訟のしくみ

-平成21年スタート！

藤田 裕／監修 三修社

誰でもいいから殺したかった！

-追い詰められた青少年の心理

碓井真史／著 ベストセラーズ

暮らしを楽しむ包みかた、結びかた便利帳

こものちほ／監修 PHP 研究所

覚えておこう応急手当 -小さなけがの手当から命を救うAEDまで

加藤啓一／監著 少年写真新聞社

アジアの布を纏う 大橋ひろ美／著 アートダイジェスト

今夜はだんらん鍋にしましょ！

-定番からオリジナルまで鍋料理 42点

泉書房編集部／編 泉書房

ママと赤ちゃんの様子が1週間ごとによくわかる
妊娠・出産最新ケアブック

竹内正人／監修 世界文化社

寂聴と読む源氏物語

瀬戸内寂聴／著 講談社

スペインの墓標 -五木寛之の恋愛小説

五木寛之／著 実業之日本社

白雨 -慶次郎縁側日記

北原亜以子／著 新潮社

★午後の音楽

小池真理子／著 集英社

■恋愛嫌い

平 安寿子／著 集英社

参謀力 -直江兼続の知略

童門冬二／著 日本放送出版協会

アイスクリン強し

畠中 恵／著 講談社

★ガリレオの苦悩

東野圭吾／著 文芸春秋

▲新三河物語 下巻

宮城谷昌光／著 新潮社

▲利休にたずねよ

山本兼一／著 PHP 研究所

徹子さんの美になる言葉

-その後のトットちゃん 黒柳徹子／著 講談社

脳あるヒト心ある人 養老孟司／著 産経新聞出版

マリリン・モンローの最期を知る男

ミシェル・シュネゲール／著 河出書房新社

●子ども向けの本

世界を動かした塩の物語

マーク・カーランスキー／文 BL 出版

将棋の基本

川北亮司／著 金の星社

うさこちゃんのさがしもの

ディック・ブルーナ／ぶん・え 福音館書店

まぜこぜシチュー ロアルド・ダール／著 評論社

▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書

室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

つながれ・ひろがれ・子育ての輪

ママプラザフェスティバル



とき 12月13日(土)

午後1時開会

ところ スターシャワーの森音楽堂
スピカホール

■ステージ発表 (各サークル発表)

リトミック、親子遊び、ちびっ子プリキュア登場、大型かみしばい、子育てレンジャー参上 ほか

■展示

【ママプラザ活動紹介】今年度もたくさんの出会いがありました。会場内にて展示。

【子どもの写真展】12月10日(水)~14日(日) さよう文化情報センターにて実施します。

■お楽しみ サンタさんから、プレゼントがあるよ！

■お問い合わせ

キラキラっ子ママプラザ ☎82-4108

ひまわりっ子ママプラザ ☎78-0264

ビスラっ子ママプラザ ☎86-1153

みかづきっ子ママプラザ ☎79-3788

今月の「地域包括支援センター通信」は、都合でお休みします。

「訪問理美容サービス事業」をご利用ください

在宅で寝たきりのために、散髪できずに、お困りではありませんか。

町では、理美容店がお宅まで訪問して散髪する「訪問理美容サービス事業」を行っています。

事業を利用できるかたは、在宅で寝たきりの状態にある65歳以上のかた、または身障がい者のかたです。

なお、理美容料は実費負担となります（訪問費用を町が助成します）。このサービスを行っている理美容店は右表のとおりです。利用ご希望のかたは、健康課までお問い合わせください。

■訪問理美容サービス実施店

地区	理容店名	住所
佐用	木村理髪店	佐用 2903-3
	のむら理容	佐用 2882-5
	岩崎理容所	佐用 3516-8
	山川理容店	円應寺 102-5
	理容真岡	佐用 3018
	熊淵理髪店	平福 592-2
上月	ホープ	平福 707-1
	山本理容	福吉 215-1
	あい理容所	西大畠 581-1
	橋本理容所	上月 1023-4
	衣笠理容店	上月 394-5
	ミキ理容店	久崎 225-4
南光	真柴理髪店	下徳久 903-8
	椿理髪店	下徳久 886-11
	春名	下徳久 1017
	雅	上三河 140-1
	直	下徳久 890
三日月	カットハウス・サザン	三日月 1198-1

■お問い合わせ 健康課 ☎87-8020

★献血のお願い★

12月19日(金)

- 午前 10 時～正午
役場南光支所
- 午後 2 時～午後 3 時 30 分
尾崎病院
- お問い合わせ
健康課 ☎87-8020

子どもの栄養教室

キッズチャレンジクッキング参加者募集

食べ物のこと、体のこと、みんなで楽しく料理を作って、考えてみませんか？

- 対象 町内の小学校4～6年生
- 日時 12月25日(木)
午前9時30分から
- 場所 上月保健福祉センター
- 参加費 1人 300円
12月12日(金)までに申し込みください。
- 申し込み・お問い合わせ
健康課 ☎87-8020



ようさん 不足を招かない食生活を 「葉酸」を上手にとりましょう

聞きなれない「葉酸」ですが、ビタミンB群に属する水溶性のビタミンで、私たちの身体には大切なものです。

最近、インスタント食品やコンビニ食に頼る食生活をしている人や野菜を食べる量が少ない人たちに、「葉酸」が不足していることがあります。

また、喫煙やアルコール類の飲みすぎでせっかくなった葉酸の吸収が悪くなる場合があります。健康のために食生活を振り返ってみましょう。

☆血管を守る葉酸

①妊婦や妊娠する可能性のある女性に必要

妊娠前から妊娠初期にかけて適量の葉酸をとることで、神経管閉鎖障がい※の赤ちゃんが生まれるリスクが低くなることが明らかになっています。また、妊娠・授乳中は、葉酸が普段よりも多く必要なので、特に妊娠する可能性のある女性や、妊婦は摂取不足にならないようにしましょう。

②貧血の予防

ビタミンB12と協力して、赤血球の生成に深くかかわっています。不足すると赤血球の数が減少し貧血になります。

③心臓病、脳梗塞、脳卒中の予防

葉酸はビタミンB6やB12とともに、血管を守る働きがあり、動脈硬化などの予防に役立ちます。

☆葉酸の上手なとりかた

葉酸は、水溶性のビタミンで体内にためておくことができないため、毎日の食事からとる必要があります。野菜やレバーなど、多くの食品に含まれています。下表を参考に、意識して食べるようにし、葉酸不足を招かない食生活を心がけましょう。

分類	食品名	目安量	分量 (g)	葉酸 (μg)
野菜	ほうれん草	2株	60	126
	グリーンアスパラガス	3本	60	114
	ブロッコリー	2房	50	105
果物	いちご	中5粒	75	68
	アボガド	1/2個	90	76
豆類	枝豆(冷凍)	さやつきC1	100	155
	大豆(乾燥)	カップ1/5	30	69
	納豆	カップ中1	50	60
レバー	鶏レバー	1羽分	50	650
	牛レバー	小1切れ	50	500
	豚レバー	小1切れ	50	405

栄養補助食品の葉酸を利用する場合、医師からの説明を受け、購入すると良いでしょう。

※神経管閉鎖障がいとは、脳やせきついなどの中枢神経の源になる神経管の形成不全です。

佐用健康福祉事務所

行事カレンダー (12月10日～1月9日分)

- このころの病気新規発症者家族教室 (要予約)
12月 6日 (土) 13:30～16:00
- 犬の引き取り
12月 10日 (水) 10:00～10:30
- このころのケア相談 (要予約)
12月 11日 (木) 14:00～17:00
- 専門的栄養相談 (要予約)
12月 16日 (火) 10:00～11:30
- アルコール相談 (要予約)
12月 18日 (木) 13:30～15:30
- デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)
12月 25日 (木) 13:30～15:30
- デイ・ケア (精神障がい者社会復帰訓練事業)
1月 6日 (火) 13:30～15:30

※いずれも、場所は佐用健康福祉事務所

■お問い合わせ

佐用健康福祉事務所 ☎82-2621



赤ちゃん和妈妈の行事

- ★すくすく健康相談 (平成20年6月生まれ)
12月 12日 (金) 13:30～
 - ★1歳6か月児健診 (平成19年4月～5月生まれ)
12月 16日 (火) 13:00～
 - ★ヨチヨチ健康相談 (平成19年12月生まれ)
12月 19日 (金) 13:30～
 - ★4か月児健診 (平成20年8月生まれ)
12月 22日 (月) 13:30～
 - ★0歳児クラス (2か月～1歳未満)
1月 5日 (月) 2か月～6か月児 10:00～11:30
7か月～1歳未満児 10:30～12:00
 - ★ぱくぱく離乳食教室
(すくすく健康相談後～1歳5か月未満)
1月 8日 (木) 10:00～
- ※いずれも場所は上月保健福祉センター

携帯電話でもご覧いただけます。

QRコード対応の携帯電話のカメラで、右のQRコードを読み込んで町ホームページアドレスに接続してください。



健康だより



高血圧に注意しましょう

血圧とは、心臓から送りだされる血液が、血管の壁を押す圧力のことです。この圧力が高すぎる状態を「高血圧」と言います。高血圧が続くと、血管壁は硬く厚くなっていきます。この状態が「動脈硬化」です。この症状が進むと、血液が流れにくくなり、心臓がさらに高い圧力で血液を押し出し、血圧が上昇するという悪循環となります。これを放っておくと、脳には脳こうそく・脳出血・認知症、心臓病には狭心症・心筋こうそく、脚には閉そく性動脈硬化症、目には眼底出血、胸部腹部には大動脈瘤・大動脈解離、じん臓にはじん臓硬化症など、さまざまな合併症を招くおそれがあります。

高血圧は、特に自覚症状がないため、気付かないうちに動脈硬化が進みます。そのため、自分の血圧を良く知るために、家庭用血圧計などで測定し、記録をつける習慣も大切です。

血圧をコントロールするためには「食事の塩分やエネルギー量を減らす」「運動量を増やす」など生活習慣を改善する必要があります。生活習慣を変えること

は大変ですが、自分のペースで無理せず修正していくのがポイントです。

血圧コントロールのための食事療法

食べすぎ飲みすぎを避けて、バランスの良い食事を心がけましょう。

規則正しくゆっくり食事

規則正しく、ほどほどな量をゆっくり食べましょう。

減塩が何よりも大切

外食は塩分もカロリーも高く、野菜が不足しがちな傾向にありますので、注意が必要です。

体を動かして血圧を下げる

適度な運動は、血液循環を良くし、肥満予防や解消にもつながります。酸素を取り入れながら行う「有酸素運動」が効果的です。

禁煙や節酒をする

大量の飲酒や喫煙は「脳卒中」「心筋こうそく」の発症の危険性を高めます。お酒は適量に。また、たばこはやめましょう。

お堂の改築 完成を祝う — 延吉集落の「阿難堂」 —

国道 373 号の改良工事にともない、延吉集落で改築工事が進められていたお堂「阿難堂」が完成し、このほど、祝典がありました。お堂は、旧因幡、作州の両街道沿いにあり、古くから集落の宝物として、毎年 4 月に例祭を開催するなど、大切に守られてきました。祝典には集落の人たち 80 人が参加。改築に貢献されたかたがたに、同集落から感謝状が贈られました。祝典のあとは、参加者みんなで交流会が行われました。

同集落自治会長の井上薫さんは「多くの人の協力で、地域の宝物を守ることができました。この新しいお堂が、地域の活性化につながればうれしい」と話していました。



お堂の前で、交流を楽しむみなさん

秋のひまわりで地域活性化を — 上三河集落でミニひまわりまつり —

美しく咲くひまわり



ふれあい喫茶を楽しむみなさん



上三河集落ではこのほど、秋に咲くひまわりを生かして「ミニひまわりまつり」が開催されました。

この「秋のひまわり」は上三河集落の環境保全組合が昨年から取り組んでいる地域活性化事業。今年も 50 畝の田んぼに、美しいひまわりが咲きました。

当日はあいにくの雨で、会場を三河ふれあいセンターに移し行われましたが、子どもから高齢者まで、多くの人が集まり、手作りのおにぎりや豚汁を食べ、ビンゴゲームなどをして楽しみました。

同組合代表の春名武夫さんは「みんなの協力があってこそ実施できる地域行事。みなさんの協力に感謝します」と話していました。

いつまでも 歯を大切に — 佐用町 8020 達成者表彰式 —

11 月 9 日、さよう文化情報センターで、佐用郡歯科医師会主催の 8020 達成者表彰式が行われました。

「8020 運動」は、80 歳で健康な歯 20 本を残し、健康で豊かな高齢期を過ごすための運動で、佐用町が発祥の地です。今年の達成者は 34 人。同会会長の安積明先生から、達成者一人ひとりに、記念品と表彰状が贈られました。

そのほか、会場周辺では徳久小学校のポスター展示や、8020 運動の書籍展示、マジックショーなどが行われ、訪れたみなさんは、歯の健康について、あらためて認識を深めました。



いつまでも歯を大切に

本町の地産地消をPR

—西播磨高齢者文化大学大学院生が長谷ふれあい加工所で研修—

長谷ふれあい加工所に、このほど、西播磨高齢者文化大学大学院生 56 人が、本町の地産地消の取り組みを学ぶため訪れました。大学院生のみなさんは、加工所で活躍する生活改善グループ「ほほえみ会」の代表、井口美子さん（口長谷）から、同会の取り組みを聞いた後、もちつきを実施。自分でついたおもちと「ほほえみ会」のみなさんが地元食材で作った愛情なべに舌鼓を打ちました。

井口代表は「地元食材を使った本物にこだわって、活動しています。好き嫌いがある子どもたちも、ここにくればすぐに治ります。いつでも遊びに来てください」と、訪れた人たちにPRしていました。



久々のもちつきに、力も入ります

もりあがった佐用町大収穫祭

— 綱引き大会は「JKS」が優勝 —

11月3日に佐用商店街周辺で「佐用町大収穫祭」が開催されました。特産品の販売、綱引き大会、キャラクターショー、スーパーカーの展示、大屋台の巡行などが行われ、多くの人でにぎわいました。

綱引き大会には、11チームが参加し、多くの若者たちが熱戦を繰り広げました。熱戦を制したのは、女子高生で編成したチーム「JKS」。優勝したチームのみなさんは、とてもうれしそうでした。



多くの人でにぎわう物産コーナー（写真は佐用高校）



あこがれのスーパーカーもズラリ



優勝した「JKS」の力強い綱引き



来場者を盛り上げた龍山神社の勇壮な屋台練り

「夢は紅白歌合戦出場です」

—上月小学校に「ザ・ニューズペーパー」の谷本賢一郎さんが来校—

11月5日、上月小学校体育館で、ふれあいコンサートが行われました。

このコンサートは、オープンスクールの一環として行われたもので、本町早瀬出身で同小学校卒業生の谷本賢一郎さんが所属する社会風刺コント集団の「ザ・ニューズペーパー」が出演。会場は、同小学校児童はもとより、谷本さんの美しい歌声を聴こうと、多くの人たちが集まりました。

谷本さんは大学卒業後、いったん企業に就職しましたが、歌手になる夢を追って上京。5年前から「ザ・ニューズペーパー」の歌部門を担い、現在は全国で活躍中です。

谷本さんは「夢をあきらめかけたこともあったけれど、今月、レコード会社から正式に歌手デビューも決まりました。今後の夢は紅白歌合戦に出場することです」と笑顔で近況報告し、その美しい歌声を会場のみなさんに披露しました。

コンサート終了後、谷本さんは同級生のみなさんと、卒業時に埋めていたタイムカプセルを開封。谷本さんは、久しぶりに会う同級生のみなさんや、地域のかたがたと昔を懐かしみ、当時の思い出話に花を咲かせていました。



オリジナル曲を熱唱する谷本さん



同級生や地域のかたに囲まれ、タイムカプセルを開ける谷本さん

料理を通じて国際交流

—国際交流協会が外国料理教室を開催—



講習のなかで、自然と交流も深まります

外国料理を通じて、外国文化の理解を深めようと、11月16日、上月中学校で、町国際交流協会主催の料理教室が開催されました。

今回作ったのは、ベトナムとルーマニアの家庭料理で、メニューはフォー・ガ（お米の粉で作った麺）と揚げ春巻き、そしてポテトサラダ。19人の参加者のみなさんは、講師のトゥさん、テオさん、ビートさんの3人から、作りかたを教えてもらいながら、料理をしていました。

みんなで試食をした後、引き続き講師先生からベトナムとルーマニアの日常についての話を聞き、楽しく交流しました。

児童たちの安全確保のために

— 佐用小学校で児童引渡し訓練を実施 —



保護者と下校する児童たち

11月6日、佐用小学校では、緊急時を想定した児童引き渡し訓練が行われました。

この訓練は、災害時などに児童を保護者へ引き渡すことを、スムーズに行うために行われたものです。訓練は全児童261人を対象に行われ、グラウンドには保護者を含め500人以上が参加しました。

保護者に引き渡された後、児童たちは保護者と集団下校し、安全マップを作成するため、通学路の危険箇所を確認しながら帰宅しました。

平和の大切さを再認識

— 三日月地域で戦没者慰霊祭 —

新宿地内にある戦没者忠霊塔で、このほど、三日月地域の戦没者慰霊祭が行われました。これは、4年に1回、佐用郡遺族会三日月支部（代表：猪口久雄さん（三日月上））が行っているもので、当日は、三日月地域の遺族のみなさんが参加し、戦没者を追悼しました。

同支部代表の猪口久雄さんは「無事開催することができました。平和の大切さを、あらためて認識しました」と話していました。



式典を取り行う猪口代表

楽しかったよ 運動会

— 江川保育園児と朝霧園の交流運動会 —



園児と競技を楽しむ施設利用者のみなさん

朝霧園で、このほど、朝霧園施設利用者と江川保育園児と交流運動会が行われました。

当日はあいにくの天気で、室内での開催となりましたが、スプーンレースに玉いれ、パン食い競争などの競技を楽しみ、心地よい汗を流しました。

運動会終了後は、いっしょにおにぎりを食べたり、プレゼント交換を行ったりするなど、楽しい一日を過ごしました。

■現場などを再確認するため、警察から折り返し電話をする場合がありますので、電源をきらないようお願いいたします。

また、事件事故以外で緊急の対策を必要としない問い合わせ、相談などは、県警なんでも相談電話（☎ #9110）をご利用ください。

■お問い合わせ

佐用警察署 ☎82-0110

西播広域情報
七都物語

【相生市】

相生かきまつり

■日時 平成21年1月18日（日）
午前9時30分～

■場所 野瀬公園特設会場

■内容

焼がき、かき汁、かき入りお好み焼き、かきバターなどかき料理のバザーが多数ならび、かき好きにはたまらないイベントです。

また、目の前で水揚げされた新鮮な殻付きかき・むき身を格安販売いたします。食後は、和太鼓、バンド演奏、よさこい踊りなど、ステージイベントをお楽しみください。

■お問い合わせ

相生市産業振興課

☎（0791）23-7133

【上郡町】

クリスマス親子劇場ユーモアミュージック“台所コンチェルト”&ドラママーチでクリスマスLet'sエンジョイ！

■日時 12月23日（火・祝）
午後2時～（開場午後1時30分）

■場所

上郡町生涯学習支援センター

■内容

しゃもじ・フライパンなど日常使用している台所用品が素敵な楽器に変身！素材を生かし、どんな味付けをするのか、ユーモアたっぷりのシェフの腕前をお楽しみに！

■チケット料金

*子ども（3歳以上）800円

当日券1,000円

*大人（高校生以上）1,300円

当日券1,500円

*親子ペア（大人1人、子供1人）

1,800円

当日券2,200円

■お問い合わせ

上郡町生涯学習支援センター

☎（0791）52-1125



人のうごき 11月20日現在（ ）内は前月比

人口 20,780人（-21）

男 9,914人（-16）

女 10,866人（-5）

世帯数 7,304戸（ 0）

11月中の移動

出生 7人 死亡 33人

転入 31人 転出 26人

お誕生おめでとう

10月21日から11月20日届出分 敬称略

氏名 保護者 自治会
個人情報のため非公開

お悔やみ申し上げます

10月21日から11月20日届出分 敬称略

氏名 年齢 自治会
個人情報のため非公開

モ

ちようみんカレンダー

12月上旬～1月上旬

月日	曜日	内容	場所	時間
12/10	水	福祉相談	南光地域福祉センター	13:30～16:00
11	木	佐用高年大学南光教室	南光文化センター	10:30～15:00
13	土	マンプラザフェスティバル	スピカホール	13:00～15:30
14	日	第2回さよう マラソン&ウォーク	三日月中学校周辺	8:50～
15	月	EMぼかし講習会	佐用町保健センター	10:00～
16	火	高年大学三日月教室	三日月保育園	10:00～
		高年大学上月教室	上月文化会館	10:00～
17	水	行政相談	役場本庁2階相談室 上月支所1階会議室 南光文化センター会議室 三日月文化センター	13:00～15:00
18	木	高年大学佐用教室	さよう文化情報センター	10:00～
19	金	献血	本誌28ページをご覧ください。	
21	日	ザ！久崎市	本誌14ページをご覧ください。	
25	木	弁護士相談 (社会福祉協議会に予約必要)	佐用町地域福祉センター	13:00～15:30
1/4	日	佐用町成人式	さよう文化情報センター	12:30～
11	日	新春おりひめ寄席	本誌23ページをご覧ください。	



今月の税金

固定資産税第3期分
国民健康保険税第6期分の
納期限は

12月25日(木)です

口座振替日は12月25日(木)です

納税は納期限までに!

— 今月の納税相談日 12月25日(木) —

受付時間 午前8時30分～午後5時
受付場所 役場本庁舎 税務課
災害・盗難・疾病・失業や廃業などによつて納期限までに町税が納められない場合は、納税相談に応じます。

■お問い合わせ

税務課 ☎82-0662

介護保険料(普通徴収)第6期分の

納期限は **12月25日(木)です**

■お問い合わせ

健康課 ☎87-8020

後期高齢者医療制度(普通徴収)第6期分の

納期限は **12月25日(木)です**

■お問い合わせ

福祉課 ☎82-0661

● 製造事業所のみなさまへ

工業統計調査

■調査基準日 **12月31日**

12月中旬から調査員がお伺いします。

～ご協力をお願いします～

経済産業省・兵庫県・佐用町

募 集

自衛隊員の募集

2等陸・海・空士(男子)を募集します。

■対象者

18歳以上27歳未満の男子

■試験日

12月20日(土)

■受付期間

試験日の前日まで行っています。

■お問い合わせ 自衛隊相生募集事務所

☎(0791)23-2750

NHK公開録音

歌の散歩道観覧者募集

■日時 平成21年1月23日(金)

開演 午後6時～

■会場 たつの市総合文化館赤とんぼ文化ホール(大ホール)

■出演(出演順) 島津亜矢、柏原芳恵、橋幸夫

■観覧申し込み

入場は無料ですが、入場整理券が必要です。往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえお申し込みください。

また、返信表面にも返信先を記入してください。

※入場整理券1枚につき、2人まで入場できますが、2人での入場を希望する場合は、もう1人の住所、氏名、電話番号を必ずご記入ください。

※お申し込みは、お一人様一通に限ります。2通以上申し込みをされた場合は、無効です。(お連れ様として記入したかたも含む)

※申し込み多数の場合は抽選となります。

※申し込みいただいた情報で結果をお知らせするほか、受信料のお願いに使用させていただくことがありますので、予めご了承ください。

【あて先】
〒679-4167
たつの市龍野町富永
たつの市総合文化館
赤とんぼ文化ホール「歌の散歩道」係

【締め切り】12月24日(水)必着

■お問い合わせ
赤とんぼ文化ホール
☎(0791)63-1888
NHK神戸放送局
☎(078)252-5000

西播磨人権のつどい 参加者募集

「人権」について、みんなで考えてみませんか?

■日時 12月13日(土)

午後1時30分～

■場所 宍粟市山崎町

山崎文化会館(サンホールやまさき)

■内容 人権作文、人権書道表彰式、

「人権の花」運動・人権作文応募

校感謝状贈呈式、最優秀人権作文

の朗読、人権トークショー

■お問い合わせ

住民課 ☎82-0660

お知らせ

佐用高校感謝即売会

佐用高校農業科学科と家政科では、地域のみなさんのさまざまなご協力に感謝して、感謝即売会を開催します。

■日時 12月11日(木)

午前11時～正午まで

■場所 佐用高校前庭

■販売物

・鶏卵、キムチ、キャベツ、ミニ葉ボタンなどの農産物

・家政科手作り作品、紅茶ケーキなど

そのほか焼き芋を無料配布します

■お問い合わせ

佐用高等学校 ☎82-2434

1月10日は 110番の日

110番は、事件や事故にあわれたかた、見られたかたが、いち早く警察に通報していただく緊急通報電話です。

すべての110番通報は、兵庫県警察本部通信司令室で受理しています。特に、携帯電話からの通報は、通報場所の確認に時間を要したり、電波状況が悪く、途中で切れてしまったりすることがあるので、次のことに注意してください。

■通報場所の地名、目的物となる著名な建物、交差点名など確認してください。

■通報場所から離れないようお願いします。

■車の運転をしながらの通報はしないでください。

わが家のアイドル



こゆき 武田 小雪ちゃん なぎと 武田 凧翔ちゃん

弟が生まれて戸惑うこともあるけど、キラキラ子ママプラザに行つて、少しづつお姉ちゃんになつてきたね。風翔も動き出して危ないこともあるけど、姉弟も仲良く、健康に過ごせたら、パパ・ママより嬉しいです。

佐用町の誇り

～杉坂峠と美作道～

町内唯一の関所跡



上月地域の皆田にある杉坂峠を通るこの街道は、約1300年前に行われた律令制によって整備されたのが始まりで、美作道（作州道）や出雲道などとも呼ばれています。

街道は、瀬戸内側をはしる山陽道を、現在の姫路市から分岐してのび、佐用町を西側に横断して津山市へ（美作道）、さらには出雲市まで（出雲道）伸びています。

また鳥取市への街道（因幡道）を始めとして、但馬より西側の国に至る山陰道へ、美作道から分岐した道がいくつかあったようで、山陰と畿内を結ぶ主要な街道であったことがうかがわれます。中世のころ、後醍醐天皇が山陰の隠岐に配流される際に、この街道を通った話は「太平記」にもあり、有名です。

この街道には、ときとして関所と呼ばれる往来を見張るための施設が設けられることもあったようで、さきの「太平記」には赤松則村が元弘三（1333）年、大塔宮の令旨を奉じて挙兵した際に、まず杉坂に関所を設けたという話があります。これは播磨と美作を限るために設けたものと思われ、町内に存在した唯一の関所とされています（今のところ、遺跡としての詳細は明らかになっていません）。

その後、近世になると、街道は西大島の万能峠越えの道が新たに開かれてその役割を担ったため、杉坂峠越えの道は、行き交う人の数も減ったと言われます。

ただ現在に至る今もなお、播磨と美作をつないだ杉坂峠越えの道は、人々の往来が絶えることはなく、その峠にあったとされる杉坂峠関所跡は、昭和58年、町の史跡に指定されました。

星空ばんざい なゆたお休みします

西はりま天文台公園

西はりま天文台公園の2台なゆた望遠鏡は、来年1月から3月いっぱいまで、主鏡面再メッキのためにお休みをいただきます。



なゆた望遠鏡

なゆた望遠鏡は常に湿気やホコリが混じった空気にさらされており、鏡の表面は徐々に輝きを失っていきます。何年かごとにこの鏡面のアルミ膜を付着し直す作業、それが再メッキなのです。

来年は世界天文年であり、世界中の多くの施設でさまざまな行事が催されます。西はりま天文台公園も、なゆた望遠鏡で多くのかたに星空の不思議さと、美しさを楽しんでもらおうと考えています。そのためにも、再メッキを行うにはこの機を逃してほかにはありません。なにとぞご理解とご協力をお願いします。

なゆた望遠鏡がお休みしている間、天文台公園オープン以来、がんばってきた60cm望遠鏡が徐々に夜間観望会に復帰です。懐かしいかたもいらっしゃるのではないのでしょうか？こちら是非、ご利用ください。

西はりま天文台 坂元 誠(主任研究員)

天文クイズ

次の中でガリレオが発見した天体はどれ？

- (1) 月 (2) イオ (3) カロン (4) 国際宇宙ステーション

先月のクイズの解答：(1) クジラ

【応募方法】はがきまたはFAX・メールで住所、氏名、年齢、電話番号、答えを記入し役場まちづくり課まで送ってください。正解者のなかから抽選で3人のかたに景品を送ります。なお、発表は景品の発送をもって当選者のかたにお知らせします。

編集後記

◆「広報はまちづくりだ」と、5月号の編集後記に書きました。5月号から本誌の編集をはじめましたが、今月号でようやく自分の思いを表現できました。取材に快く応じてくださいました多くのみなさまに、このころから感謝いたします。まだまだ至らない点が多くありますが、今後も町のさまざまな課題を、みなさんといっしょに考え、まちづくりにつなげていくという、誌面づくりに励みます。